

細見美術館



神尾勇治コレクション

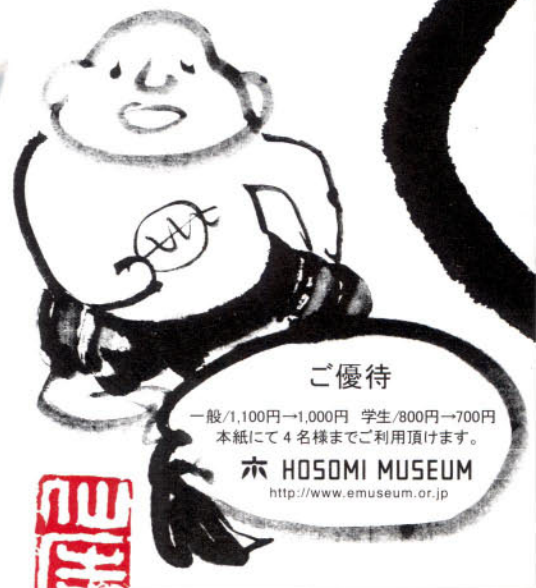
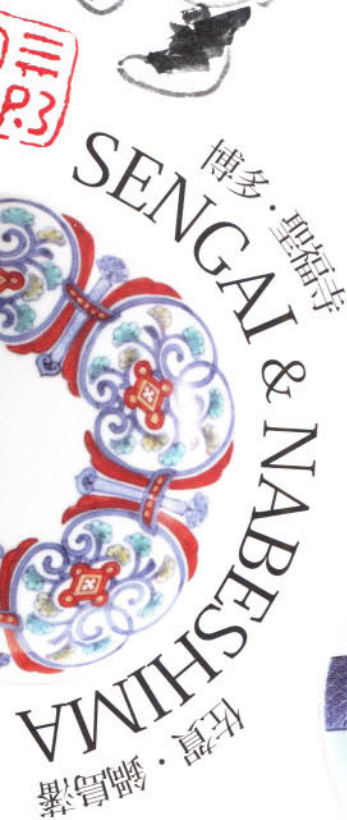
# 仙厓と鍋島

美と向き合う、美を愉しむ

The Paintings of Sengai and Nabeshima Ceramics  
from the Yuji Kamio Collection  
: Coming Face-to-Face with Beauty

10月4日[土] 平成26年  
~12月14日[日]

SENGAI & NABESHIMA



主催 = 細見美術館 読売新聞社  
後援 = 読売テレビ  
協力 = 株式会社アーテファクトリー  
休館日 = 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)  
開館時間 = 午前10時~午後6時(入館は、午後5時30分まで)  
入館料 = 一般 1100円(1000円) 学生 800円(700円)  
※( )内は20名以上の団体料金  
会場 = 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3  
TEL 075-752-5555

ご優待

一般/1,100円~1,000円 学生/800円~700円  
本紙にて4名様までご利用頂けます。

ホソミ MUSEUM  
<http://www.emuseum.or.jp>



<会期中のイベント>

有料・事前申込制

■アートキュープレクチャー

「仙厓と鍋島の魅力  
—神尾勇治コレクションの精華—」

11月1日(土) 14時~

講師 荒川正明氏 (学習院大学 教授)

浅井京子氏 (早稲田大学  
會津八一記念博物館 特任教授)

■アートサロン

「和菓子—五感で楽しむ日本の美」

11月21日(金) 10時半~

講師 國枝純次氏 (京生菓子司 松彌)

■特別企画

「口切の茶事」

11月14日(金)・15日(土)

■季節の花飾り

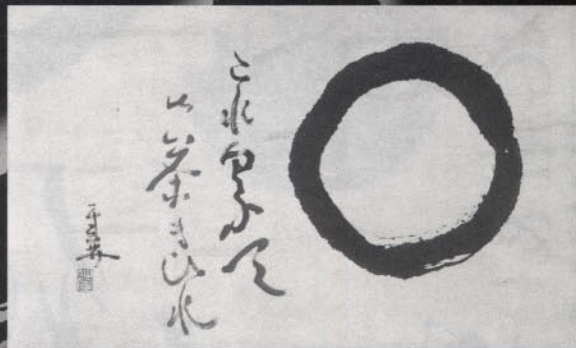
「クリスマスに彩る花」

12月5日(金)・6日(土)

■気軽にお茶会体験

「クリスマスのミニ茶会」

12月13日(土)・14日(日)



仙厓 円相兩贊

# The Paintings of SENGAI &

神尾勇治コレクション

# 仙厓と鍋島

—美と向き合う、美を愉しむ—

平成26年 10月4日(土) — 12月14日(日)

臨濟宗古月派の僧仙厓義梵(1750~1837)は、博多・聖福寺の住持を20年勤め、洒脱で飄逸な禅画を多く遺しています。職業絵師とはちがった面白さ溢れる作品は、その魅力故に多くの人々に愛されています。

一方、鍋島は佐賀・鍋島藩の藩窯で、藩主の所用品や贈答用に製造されてきました。洗練・精巧をきわめた華麗な作風は、現代にも伝承されています。

本展では、神尾勇治氏が40年にわたりに蒐集された仙厓と鍋島の名品をご紹介します。コレクターの目を鍛え続けてきた美の緊張感と面白さ。個性豊かな作品の数々をお楽しみください。

from the Yuji Kamio Collection : Coming Face-to-Face with Beauty

神尾勇治氏のコレクションは、40年以上前、伊万里・柿右衛門・鍋島といったやきものの蒐集に始まりました。その好みは次第に鍋島に傾き、特に「色鍋島」や「鍋島染付」などの優品を多く蒐集されています。

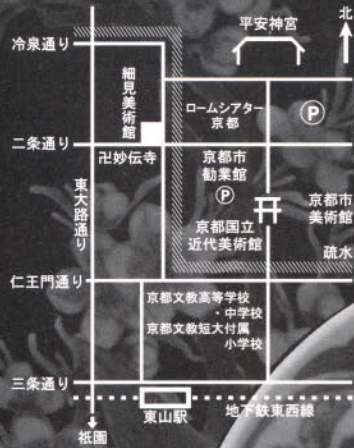
仙厓の作品と出会って以降は、禅画蒐集にも力を入れられ、白隠、東嶺、遂翁、寒潮等の作品も含めて、禅画コレクションは100点以上。そのうちの8割は仙厓作品で、あくび布袋の画をはじめとするユニークで親しみやすい作風のものから風景画まで多岐にわたります。

現在では、仙厓と鍋島作品が神尾コレクションの二大柱となっています。

次回展予告  
細見コレクション名品選  
「麗しき日本の美」  
2014年 12月20日(土) ~ 2015年 2月22日(日)

年末年始休館  
2014年 12月27日(土) ~ 2015年 1月2日(金)

- 仙厓 圓相兩贊(部分)
- 仙厓 鍾離兩贊(部分)
- 仙厓 布袋兩贊(部分)
- 仙厓 布袋兩贊(部分)
- 仙厓 七福神兩贊(部分)
- 鍋島 色絵襦袢文(部分)
- 鍋島 色絵五方唐花文梅形皿(部分)
- 鍋島 色絵唐花文向付
- 鍋島 染付襦袢文
- 鍋島 染付唐草文大皿



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
  - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
  - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- 来館には公共交通機関をご利用下さい。

細見美術館  
http://www.emuseum.or.jp

鍋島 色絵五方唐花文梅形皿